

平成26年度 第2回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 事務局職員等紹介
- 4 正副会長選出
- 5 議 事
 - (1) 平成26年度考古博物館経過事業について
 - (2) 平成26年度考古博物館予定事業について
 - (3) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

平成26年11月19日(水)

山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資 料 目 次

◇ 平成26年度 考古博物館経過事業について	
1 展示活動	1
2 学習会・講座など	2
3 イベント	3
4 職場体験・インターンシップ・学芸員実習	5
5 古代衣装貸し出し	5
6 ボランティアガイドの実施	6
◇ 考古博物館の利用状況について	
(1) 観覧者数（常設展・特別展）	7
(2) 特別展観覧者数	8
(3) 学校関係利用状況	9
(4) 総利用者数	10
◇ 平成26年度 考古博物館予定事業について	
1 展示活動	11
2 学習会・講座など	11
3 イベント	12
4 展示の充実	12
◇ 平成27年度 第33回特別展（予定）について	12
◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿	13
◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	14

◇ 平成26年度考古博物館経過事業について

1 展示活動

(1) 第32回特別展

テーマ：『掘り起こされた音の形～まつりと音具の世界～』

会期：平成26年10月8日（水）～11月24日（月）48日間（月曜日休館）

会場：考古博物館常設展示室（→特別展のための仕様に模様替え）

概要：縄文時代から中近世までの音を発する道具や楽器を展示し、考古学や民俗学的な見方から音に関わる歴史とその魅力とその背景を知ってもらうため計画した。また、本特別展に合わせて、楽器としての土器作り、木製・土製の楽器作り、古代琴の演奏会などを合わせて行うことにより、いにしえの人々と音の関わり合いについて一層の興味関心を抱いてもらえるよう留意して開催している。

(2) 企画展

① 春季企画展『縄文人の装い—県内出土の装身具—』

入館者： 6,202人

会期：4月26日（土）～6月15日（日）

開催日数： 50日

会場：考古博物館多目的室

概要：山梨といえば宝飾の町。宝飾の歴史は縄文時代まで遡ることができる。水晶やメノウ、ヒスイ、琥珀などの宝石を加工し、ペンダントや耳飾りなどたくさん発見されている。土製耳飾のルーツは大陸か！民俗事例も含めて紹介した。発掘調査で見つかった出土品の数々から縄文時代のファッションの最先端にふれる企画とした。

② 夏季企画展『おまじないの世界—儀式・呪文・霊的技術—』

入館者： 5,579人

会期：7月19日（土）～8月31日（日）

開催日数： 39日

会場：考古博物館多目的室

概要：古代より人々は様々な形で祈りを捧げてきた。遺跡からは昔の人々が願いや祈り、呪いを込めたと考えられる不思議な遺物が出土する。この展示では、遺跡から出土した、人々が祈りを込めて祭祀に使ったと考えられる遺物や、私達にも馴染み深い身近な品などのさまざまなモノを通して、「まじないの世界」に託した、いにしえの人々の「こころ」を探る機会を提供するものとなった。

③ 風土記の丘望見展『風土記の丘の古墳をめぐる』

入館者： 119人

会期：7月19日（土）～8月31日（日）

開催日数： 39日

会場：風土記の丘研修センター エントランスホール

概要：風土記の丘研修センターが所在する甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内の古墳を代表として曾根丘陵には多くの古墳が存在する。これらの古墳の変遷などについて、また古墳の代表的な副葬品である青銅鏡の歴史などについて、小・中学生を対象としたわかりやすい展示となるよう努めた。

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座(協力会共催)

(会場:風土記の丘研修センター)

近年は戦国時代への関心が高まる中、古文書、古絵図など研究を踏まえ、発掘調査などの最新の考古学研究によって解明された山梨県の代表的な城下町について、「考古学が語る甲斐國の城下町」のシリーズタイトルのもと連続講座を開催し、合わせて約300名の受講を得た。

- 第1回 6月 8日(日) 「武田城下町」 講師:信藤祐仁氏(甲府市教育委員会)
受講者:70人
- 第2回 7月 6日(日) 「谷村城下町」 講師:森屋雅幸氏(都留市教育委員会)
受講者:72人
- 第3回 7月20日(日) 「新府城下町」 講師:関間俊明氏(韮崎市教育委員会)
受講者:71人
- 第4回 8月17日(日) 「甲府城下町」 講師:志村憲一氏(甲府市教育委員会)
受講者:80人

(2) 館長講座

(会場:風土記の丘研修センター)

平成26年4月就任の萩原三雄館長が「考古学研究の最前線を語る」を基本テーマに連続講演を行うもので、今年度からの新企画の1つとなった。年度途中からのスタートであるためか、まだ浸透が十分でない。今後より多くの参加が得られるよう取り組むこととしている。なお、第3回以降の予定はP.11を参照。

- 第1回 7月26日(土) 歴史考古学の世界(1) 受講者:50人
- 第2回 9月20日(日) 歴史考古学の世界(2) 受講者:38人

(3) 特別展関連イベント

第32回特別展「掘り起こされた音の形」の開催を記念して、例年のとおり、関連講演会等を開催している。

- ① 記念講演会 11月2日(日) 「考古学で聴く太古の音」 受講者:28人
講師:群馬県埋蔵文化財調査事業団 石守 晃 氏
- ② 記念演奏会 11月9日(日) 「古代への道」お話と演奏 参加者:80人
講師(演奏者):古代琴演奏家 遼 安 氏

(4) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深める企画で、参加者の満足度は高い。第63回は12月を予定(p.11)。

- 第61回 5月18日(日) 『北口本宮富士浅間神社と吉田口登山道周辺を歩く』
講師:富士吉田市教育委員会 篠原 武氏 参加者:26人
- 第62回 8月3日(日) 『本栖湖周辺の中道往還を歩く』
講師:富士河口湖町教育委員会 杉本悠樹氏 参加者:33人

(5) チャレンジ博物館

(会場:風土記の丘研修センター)

考古学を学ぶ楽しさやものを作り出すよろこびを経験できる企画。小中学生を対象に、学校の休業日である日曜日を利用し、体験学習会を開催している。第1~2回は春季企画展と、また第3回及び第6~8回は特別展に関連づけをもたせている。

第1回	5月25日(日)	『石製耳飾りづくりにチャレンジ』	参加者:18人
第2回	6月15日(日)	『土製耳飾りづくりにチャレンジ』	参加者:3人
第3回	7月20・27日、8月17日(日)	『縄文土器(有孔鏝付土器)づくりにチャレンジ』	参加者:75人
第4回	8月24日(日)	『縄文のかごづくりにチャレンジ』	参加者:23人
第5回	9月7日(日)	『はにわづくりにチャレンジ』	参加者:26人
第6回	10月5日(日)	『弥生時代の笛づくりにチャレンジ』	参加者:24人
第7回	10月19日(日)	『弥生時代の琴づくりにチャレンジ』	参加者:18人
第8回	11月2日(日)	『小銅鐸づくりにチャレンジ』	参加者:18人

(6) ものづくり教室 ~原始古代の技に学ぶ~

(会場:風土記の丘研修センター)

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれたやや高度な工芸技術を体験学習する。第1回は春季企画展と、また第2~7回は特別展と関連させたものづくりとなっている。

第1回	4月20日(日)	『珠状耳飾りペンダント作り』	参加者:8人
第2回	5月17・24日(土)	『青銅器作り』ミニ銅鐸	参加者:9人
第3回	6月7・14・28日(土)	『縄文土器作り』有孔鏝付土器	参加者:25人
第4回	7月13日(日)・26日(土)	『青銅器作り』三環鈴	参加者:10人
第5回	8月10日(日)・16日(土)	『トンボ玉作り』	参加者:10人
第6回	9月13日(土)・28日(日)	『青銅器(ミニ銅鐸)作り』	参加者:10人
第7回	10月12日(日)	『口琴(ムックリ)作り』	参加者:3人
第8回	11月3日(月)・8日(土)	『トンボ玉作り』	参加者:12人

(7) 原始・古代の技術体験学習

(会場:風土記の丘研修センター)

学校団体の考古博物館利用に合わせ、体験学習の場を提供するもので、見学下見時などに受けた要望に応える形で随時実施している。参加者は10月末現在の延べ人数である。

① 勾玉作り	参加者:2,512人
② 火起こし体験	参加者:5,831人

3 イベント

(1) 第25回 風土記の丘こどもまつり

参加者:24,095人

5月5日(月)・6日(火) 風土記の丘研修センター内と前庭など

勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や縄文土器太鼓演奏、史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでいただく内容で、曾根丘陵公園管理者と共催で、考古博物館協力会の支援を受けながら開催した。

(2) 考古博物館の日

第4日曜日を中心に「考古博物館の日」と銘打ち、エントランスホールでミニイベントを実施してきた。

第1回 4月27日(日) 参加者：19人

『甲冑を着て戦国武将&古墳時代の武人に変身!』

子ども向けの復元衣装のよろいやかぶとを着て 戦国武将や古墳時代に武人になりきり、甲冑を着たその姿を写真に撮ったりする内容として実施した。

第2回 5月25日(日) 参加者：54人

『竪穴住居でおはなし会&どんぐりデザートを作ろう!食べよう!』

考古博物館の隣にある復元竪穴住居(縄文時代)で、絵本の読み聞かせを行い、また縄文人の主食の一つとである”どんぐり”を試食する内容で、県立図書館から司書の派遣を受けながら実施した。

第3回 6月22日(日) 参加者：38人

『富士山のお札(ふだ)を刷ろう!』

かつて富士講信者の宿坊を営んでいた御師が配っていた「お札」を刷ることを実際に体験をする催しで、富士吉田市歴史民俗博物館の支援により実施した。

第4回 10月26日(日) 参加者：38人

『チャレンジ演奏会・収穫祭』

特別展開連のイベントの1つで、埋文センターと共催により実施した。

(3) 夏休みスタンプラリー

「夏休みスタンプラリー」は、昨年まで実施の「夏休みフリーパスポート」に代わる事業で、県内全部の小中学生に配布されたスタンプブックを持った入館者が、各種の体験学習をすることができる夏休み企画として、7月19日(土)～8月31日(日)の間に取り組みされた。体験メニューと参加状況は次のとおり。

- | | |
|--------------------------|----------|
| ① 『土器の拓本をつくろう!』 | 参加者：194人 |
| ② 『大珠をつくろう!』 | 参加者：51人 |
| ③ 『おしゃれクルミペンダント』 | 参加者：178人 |
| ④ 『青銅鏡をつくろう!』 | 参加者：14人 |
| ⑤ 『古代の火起こしにチャレンジしよう!』 | 参加者：60人 |
| ⑥ 『勾玉をつくろう!』 | 参加者：229人 |
| ⑦ 『トンボ玉をつくろう!』埋文と共催 | 参加者：56人 |
| ⑧ 『プラバン・ブローチをつくろう!』埋文と共催 | 参加者：121人 |
| ⑨ 『組紐ストラップをつくろう!』埋文と共催 | 参加者：148人 |
| ⑩ 『昔文様オーナーメント』 | 参加者：131人 |

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

7月21日(月) 会場：アイメッセ山梨(甲府市) 参加者：80人

県立博物館が中心となる県内の博物館ネットワーク「ミュージアム甲斐」の呼びかけにより、各地の美術館・博物館等の子ども向け合同プレゼンで、当館では第12回「わたしたちの研究室」事業への参加をピーアールした。

(5) 縄文王国山梨関連イベント

考古博物館と、釈迦堂遺跡博物館、韮崎市民俗資料館、富士吉田市歴史民俗博物館、北杜市考古資料館、南アルプス市ふるさと文化伝承館、県立博物館の7館が連携し、共

同開催イベントや講演会を実施しているが、今年度については次のとおりとなっている。

① 巡回イベント『縄文夜会』

8月25日(月) 会場：南アルプス市ふるさと伝承館 参加者：150人

4 職場体験・インターンシップ・学芸員実習

主に中学生による職場体験、高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習を受け入れてきた。

① 職場体験・インターンシップ

7月 9日～11日	甲斐市立双葉中学校2年	1名
7月10日～11日	韮崎市立韮崎東中学校2年	5名
7月23日～25日	県立白根高校2年	2名
7月24日	身延町立身延中学校2年	1名
7月31日	昭和町立押原中学校2年	3名
7月31日～8月1日	甲府市立南中学校2年	2名
8月5日～6日	甲府市立笛南中学校2年	4名
	市川三郷町立三珠中学校2年	2名
8月7日～8日	甲府市立富竹中学校2年	1名
	甲府市立城南中学校2年	3名
	甲府市立北中学校2年	2名
8月12日	中央市立玉穂中学校1年	2名
8月13日	富士吉田市立下吉田中学校2年	1名
8月19日～20日	甲府市立東中学校2年	1名
	甲府市立西中学校2年	1名
8月26日	山梨市立山梨南中学校2年	2名
10月21日～22日	富士川町立増穂中学校2年	6名
	計 17校 39名	

② 学芸員実習

7月31日～8月10日 10日間 1名
茨城大学1名

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用を進めている。

3月21日～	4月23日	釈迦堂遺跡博物館
4月28日～	5月27日	釈迦堂遺跡博物館
5月 8日～	5月29日	忍野村立忍野村小学校
5月29日～	6月 8日	富士宮市立山宮小学校
10月12日～	11月 1日	かえで支援学校
11月16日～	11月29日	かえで支援学校
11月16日～	11月26日	富士宮市立大富士小学校
11月22日～	12月 6日	やまびこ支援学校

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に常設展のガイド研修を受けていただき、研修の受講修了者にボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施している。平成26年度総会で新たに2名がボランティアガイド証の交付を受けており、現在のところ総勢16名で展示案内の活動が進められている。そのガイド実績は次のようになっている。

4月	2日間（延べ 2名；開館日数2・7日）
5月	3日間（延べ 3名；開館日数2・7日）
6月	19日間（延べ25名；開館日数25日）
7月	11日間（延べ14名；開館日数2・7日）
8月	10日間（延べ11名；開館日数2・8日）
9月	8日間（延べ10名；開館日数25日）
10月	0日間（延べ 0名；開館日数2・2日）
11月	5日間（延べ 6名；開館日数1・2日）

◇ 考古博物館利用状況について

次の4項目については、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況
- (4) 考古博物館総利用者数

考古博物館観覧者数 (常設展・特別展)

平成26年10月末日現在 (単位:人)

年度	開館日数	常設展										特別展	合計 (常設+特別)	累計			
		個人		団体		割引(幼少券・宿泊券)		旅行社ツアー		年間バス 年間バス	土曜日 (小・中・高)				教育課程	招待者	計
		大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高								
57	115	12,017	3,412	6,885	538							4,130	3,705	30,687	30,687		
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742							8,744	3,981	48,795	87,877		
59	298	14,282	4,968	6,329	3,276							9,327	2,540	40,722	133,838		
60	298	12,679	4,431	5,209	3,116							7,533	2,660	35,628	173,481		
61	302	14,667	4,154	4,370	3,651							7,471	3,793	38,106	221,601		
62	298	16,066	4,588	4,760	1,951							8,957	2,558	38,880	263,998		
63	296	15,822	4,522	3,014	4,667							7,613	3,916	39,554	308,675		
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332							7,147	2,982	42,682	356,982		
2	301	17,777	5,123	4,891	6,700							10,504	2,807	47,602	411,181		
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541							8,975	3,684	44,935	461,905		
4	296	14,329	3,788	4,215	8,046							6,807	3,610	40,795	508,874		
5	289	13,272	3,865	3,636	8,211							8,164	3,492	40,640	554,105		
6	294	11,759	3,153	1,764	7,216						48	7,388	3,708	35,036	595,427		
7	291	12,519	2,749	1,548	5,076						11,230	6,845	3,573	47,962	733,471		
8	283	9,079	2,055	1,426	6,089						3,455	4,908	2,910	30,950	782,904		
9	291	7,470	1,795	1,073	5,594						2,633	4,125	2,442	25,575	813,674		
10	290	7,057	1,566	556	5,410						3,596	4,166	2,283	25,080	851,919		
11	288	6,283	1,705	521	4,208						2,339	3,32	4,409	21,636	880,367		
12	288	5,616	1,459	797	2,958						3,201	287	3,919	20,094	909,688		
13	292	5,717	1,560	800	2,271						2,517	250	3,683	17,989	933,712		
14	289	5,423	1,398	396	2,598						2,670	569	3,397	17,879	957,964		
15	290	4,444	1,312	479	2,379						2,887	571	3,465	16,602	982,693		
16	298	4,377	1,141	557	1,822						2,397	331	3,519	15,346	1,003,103		
17	296	4,432	1,105	307	2,874						3,265	440	3,093	16,555	1,024,812		
18	300	4,876	1,222	326	3,543	32	5			35	2,844	537	3,145	18,428	1,047,863		
19	301	17,512	7,004	346	3,482	287	30	38	78	608	11,546	3,139	4,747	50,887	1,149,981		
20	298	4,548	2,187	229	4,276	1,098	158	17	63	261	2,944	525	3,919	22,493	1,179,023		
21	290	4,537	2,524	212	3,854	938	69	14	43	271	3,049	354	3,553	21,847	1,205,938		
22	300	3,858	1,958	305	4,128	716	68	78	140	270	2,562	396	3,798	20,570	1,230,837		
23	301	3,768	2,073	202	5,167	1,176	64			254	2,948	837	4,008	23,659	1,261,269		
24	296	4,380	6,884	85	5,056	16,900	618			825	21,177	1,697	3,699	64,356	1,390,490		
25	293	3,833	3,798	186	4,201	724	55	52	133	274	3,343	680	3,286	23,125	1,420,160		
26	181	3,056	2,626	131	4,494	225		11		126	2,055		3,415	17,998	1,440,152		
計	9,437	314,516	105,783	75,900	142,467	22,086	1,067	210	457	2,924	92,706	17,264	181,859	1,043,093	1,440,152		

※平成26年度以降の小中高生は観覧無料のため、個人・団体の別のみ

特別展観覧者数

平成26年10月末日現在 (単位:人)

年度	開催 日数	個人		団体		前売券	旅行会社 クーポン	年間バス ポート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日 平均	回	内 容
		大学・一般小・中・高	723	1,405	215											
58	46	2,807	723	1,405	215						1,800	1,445	8,395	183	1	土偶
59	35	1,840	308	926	26						1,194	945	5,239	150	2	縄文時代の酒道具
60	37	1,382	161	832	36						785	839	4,015	109	3	山梨の中世陶磁
61	56	3,232	520	1,065	8						2,585	2,604	10,014	179	4	古代甲斐国と畿内王権
62	29	1,461	274	317	28						571	866	3,517	121	5	古代官道と甲斐の文化
63	28	1,924	242	359	24						1,008	1,566	5,123	183	6	古代の装身具
1	31	1,098	264	616	316						2,522	809	5,625	181	7	一粒の粟
2	36	1,503	242	448	81						3,549	774	6,597	183	8	古墳時代が聞こえる
3	36	1,100	199	350	3						3,318	819	5,789	161	9	縄文土器その心象世界
4	36	2,263	344	414	115						1,903	1,135	6,174	172	10	天下人の時代
5	35	840	101	231							2,446	973	4,591	131	11	山梨の歴史
6	36	2,414	534	96							1,947	1,295	6,286	175	12	古墳時代の甲冑
7	44	55,623	9,554	1,943	576				10,045	3,765	4,273	4,303	90,082	2,047	13	黄金の都シカカ発掘展
8	32	7,999	1,432	259	219				982	608	2,140	420	14,059	439	-	ネアンデルタール人の復活展
9	19	1,268	178	92					583	125	737	2,178	4,424	233	14	新発見考古速報展
10	44	5,173	883	151	458				587	62	1,770	1,770	5,195	157	15	韓国・忠清北道の古代文化展
11	39	1,985	394	166	457				1,711	208	1,948	2,633	13,165	299	16	遙かなるエジプト展
12	39	2,842	383	179	173				611	87	1,634	1,478	6,812	175	17	縄文の旅
13	44	1,555	309	205	205				1,548	94	1,126	2,882	9,227	237	18	中国四川省古代文物展
14	38	1,884	449	274	89				721	92	1,913	1,035	6,035	137	19	黄金の輝き
15	38	1,965	133	126					737	142	1,423	1,375	6,373	168	20	技と美の誕生
16	46	1,052	116	285	14				1,257	145	2,227	2,274	8,127	214	21	大トルコ展
17	58	942	167	206	234				615	81	1,745	1,156	5,064	110	22	縄文の女神展
18	51	993	191	115	42				828	109	1,805	863	5,154	89	23	山の民と海の民
19	52	12,958	2,908	498	355				802	83	1,546	812	4,613	90	24	甲府盆地から見たヤマト
20	55	647	428	164	592				506	2,507	2,035	729	51,241	985	25	世界遺産ナスタカ展
21	51	605	420	39	351				126	90	1,628	905	6,549	119	26	埋められた財宝
22	51	453	236	40	390				116	68	748	1,128	5,068	99	27	卑弥呼時代の黄泉世界
23	50	810	338	92	1,124				112	652	44	961	4,329	85	28	発掘された女性の系譜
24	50	12,437	4,782	193	999				111	899	102	1,069	6,773	135	29	縄文土器名宝展
25	55	563	1,504	104	674				605	18,095	1,309	1,474	64,865	1,297	30	イノナカ帝国展
26	22	72	50	23	339				85	708	82	973	6,545	119	31	食いしんぼうの縄文人
									40	243	638	416	1,994	91	32	掘り起こされた音の形

※平成26年度以降の小中高生は観覧無料のため、個人・団体の別のみ

学校関係利用状況

平成26年10月末日現在 (単位：校、人)

年度	県内						県外						合計					
	小学校		中学校		高校		小学校		中学校		高校							
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数				
4	88	6,303	4	494	1	10	93	6,807	17	1,708	11	538	95	7,815	188	14,622		
5	89	6,450	11	1,352	2	362	102	8,164	15	1,461	11	578	94	7,755	196	15,919		
6	89	6,306	11	763	4	319	104	7,388	7	759	11	714	87	7,010	191	14,398		
7	93	5,814	15	683	7	348	115	6,845	53	3,999	2	173	67	5,249	182	12,094		
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	2	122	76	5,568	157	10,476		
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	1	56	80	5,698	148	9,823		
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	4	855	62	5,384	133	9,550		
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	1	120	55	4,136	130	8,545		
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387			43	2,852	124	6,771		
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540	33	2,221	113	5,904		
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628	40	2,562	112	5,959		
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	40	2,394	119	5,859		
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	28	1,720	101	5,239		
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	39	2,739	106	5,832		
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595	47	3,413	111	6,558		
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474	49	3,623	157	8,370		
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898	58	4,233	137	8,152		
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	54	3,911	140	7,464		
22	58	3,075	12	588	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073	60	4,343	136	8,141		
23	63	3,315	13	467	6	226	82	4,008	64	4,694	8	922	72	5,616	154	9,624		
24	60	2,985	12	532	6	182	78	3,699	58	4,029	12	1,008	71	5,109	149	8,808		
25	57	2,705	19	545	1	36	77	3,286	56	3,579	11	901	67	4,480	144	7,766		
26	53	2,520	17	747	1	148	71	3,415	53	3,654	9	840	62	4,494	133	7,909		
計	1,498	85,427	300	12,387	84	3,644	1,882	101,458	1,110	79,082	220	19,791	49	3,452	1,379	102,325	3,261	203,783

(参考) H25年10月末現在

25	50	2,362	21	622	1	36	72	3,020	55	3,439	11	901		66	4,340	138	7,360
----	----	-------	----	-----	---	----	----	-------	----	-------	----	-----	--	----	-------	-----	-------

考古博物館 総利用者数

平成26年10月末現在 (単位:人)

項 目	23年度	24年度	25年度	26年度	増減		事業内容
					対H25 10月末比	H22～25平均 (H24除)10月末 比	
常設展 観覧者数	23,659	64,356	23,125	17,998	1.0%	2.5%	
特別展 観覧者数	6,773	64,865	6,545	1,994	△ 33.4%	△ 37.7%	
企画展 観覧者数	15,708	23,007	22,873	11,781	△ 41.2%	△ 18.5%	春季・夏季・(冬期)企画展、わたしたちの研究室(展示)、富士山の日ミニ展示、山梨の遺跡展等
主催事業 参加者数	21,764	25,677	20,956	19,202	10.4%	20.3%	
講座等	557	511	418	440			史跡文化財セミナー、考古学講座、特別展事前講座、特別展記念講演会
ものづくり教室	392	415	443	268			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館
体験学習	9,330	9,073	8,586	8,344			勾玉づくり、火起こし、その他(土器、編布、青銅鑄等)
イベント等	10,028	13,542	8,619	8,244			考古博物館の日、夏休み自由研究プロジェクト(アキサ)、夏休みフリーパスポートイベント、縄文王国関連イベント、特別展関連イベント、奥底の日イベント、五代のもちつき、わたしたちの研究室表彰式・発表会、考古博春まつり 等
風土記の丘こどもまつり	1,457	2,136	2,890	1,906			(GW期間中2日間開催)
研修センター 利用者数	2,043	1,530	2,271	1,121	※ △ 18.0%	※ 2.6%	
風土記の丘望見展観覧者数	382	262	93	119			(7月～8月開催)
施設利用	1,681	1,268	2,178	1,002			講堂、研修室 【別掲】テニスコート利用者数 H23:1,670、H24:1,996、H25:1,935、H26:1,369
総利用者数	69,947	179,435	75,770	52,096	※ △ 12.8%	※ △ 0.3%	

※別掲としたテニスコート利用者数を含む増減

◇ 平成26年度考古博物館予定事業について

1 展示活動

① 『第12回わたしたちの研究室』

今年で12回目を迎えるコンクール『わたしたちの研究室』の応募作品を一同に展示し、参加者の交流や次回以降に向けたレベル向上や参加者拡大に向けた促しなどを期する。

会 期：2月10日（火）～3月1日（日）

会 場：考古博物館多目的室

② 『富士山ミニ展示』

県条例に位置づけられた「富士山の日」に協賛した企画で、関係する考古資料などによりミニ展示を行い、富士山につながる信仰の歴史などをみる機会とする。

会 期：2月14日（土）～3月1日（日）

会 場：エントランスホール

③ 『山梨の遺跡展2015』

平成26年度に県内で実施された発掘調査の成果を中心に、出土品等を速報的に展示し、最新の考古学研究の情報を県民に提供する。

会 期：3月7日（土）～4月5日（日）

会 場：考古博物館多目的室

共 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

平成26年度の後半も、次のような講座等を開催し、県民に郷土の歴史や考古学の成果等を提供し、また各種の体験ができるよう努めていく。

(1) 館長講座

第3回 1月10日（土） 「城の考古学」(1)

第4回 3月14日（土） 「城の考古学」(2)

(2) 史跡文化財セミナー

第63回 12月14日（日） 『信玄の棒道を歩く』

(3) チャレンジ博物館

第9回 12月7日（日） 『干支の土鈴づくりのチャレンジ』

第10回 1月18日（日） 『クルミペンダントづくりにチャレンジ』

第11回 2月15日（日） 『土偶づくりにチャレンジ』

第12回 3月8日（日） 『勾玉づくりにチャレンジ』

(4) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～

- 第 9回 12月14日(日) 『勾玉作り』
第10回 1月24日(土) 『草木染め』
第11回 1月31・2月7日(土)・21日(土) 『縄文土器作り』
第12回 2月8・15日・3月1日(土) 『青銅器作り』

3 イベント

(1) 考古博物館の日

- 1月25日(日) 『風土記の丘探検隊』
3月1日(日) 『考古博物館春まつり』埋文共催

(2) 県民の日イベント

- 11月20日(木) 『体験!!古代人!』埋文共催

(3) 古代のもちつき

- 1月18日(日)

(4) 第12回わたしたちの研究室表彰式・発表会

- 2月8日(日)

4 展示の充実

平成25年6月19日付けで重要文化財指定を受けた「酒呑場遺跡出土品」について、今年度からの5年計画の国庫補助事業として指定品の保存修理事業に着手している。保存修理が終了すると、常設展などで展示が可能となり、本県の縄文文化の奥行きをいっそう豊かに魅力的に見ていただくこととができるようになる。

平成26年度事業対象 縄文土器15点、土偶2点、土鈴3点、石棒形土製品1点

◇ 平成27年度 第33回特別展(予定)について

テーマ:『縄文の美(仮称)』

会期:平成27年10月6日(水)～11月23日(日) 49日間(休館を含む)

会場:山梨県立考古博物館

概要:本県には、縄文時代の遺跡が多く発見されており、その出土品は大変優れている。国や県の文化財指定を受けたものが多く、全国各地の博物館で開催された展覧会などに何度も出品され、海を渡って外国での日本文化を紹介する展覧会に展示されるなど高く評価されている。しかしながら、縄文時代の文化が華開いた「縄文王国山梨」の認知度は低い。企画展を機に、これまで縄文土器に親しんでいない人々にも来館していただき、考古学への関心を高め、本館に親しみを持っていただく。

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十六年十月二十三日～平成二十八年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	山梨県公民館連絡協議会会長	堀内邦満	社会教育関係
委嘱	山梨県市町村教育委員会 連合会副会長	市川清	社会教育関係 (富士吉田市教育委員会教育委員長)
委嘱	山梨県PTA協議会常任理事	三井久美子	家庭教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員	田中倭子	学識経験者
委嘱	国立大学法人山梨大学教授	大隅清陽	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	椎名慎太郎	学識経験者
委嘱	山梨県考古学協会名誉会長	谷口一夫	学識経験者
委嘱	山梨郷土研究会理事	齊藤洋子	学識経験者
委嘱	NHK甲府放送局局長	飯野奈津子	学識経験者
委嘱	風土記の丘農産物加工直売組合 加工部代表	柿嶋美保子	公募
任命	山梨県公立小中学校校長会	篠原香子	学校教育関係 (山梨市立山梨小学校校長)
任命	山梨県高等学校長協会	望月立弥	学校教育関係 (県立甲府南高等学校校長)
任命	山梨県小中学校社会科研究会会長	宮川一男	学校教育関係 (甲府市立朝日小学校校長)
任命	山梨県高等学校教育研究会 地理歴史公民科部会会長	深沢信吾	学校教育関係 (県立巨摩高等学校校長)

(平成二十六年十月現在)

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担任事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担任事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考 博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

